

# 01 PART

## 第1編 計画策定の 基本的な考え方

- 第1節 計画策定の趣旨
- 第2節 計画の性格
- 第3節 計画の構成と期間

## 第1節

# 計画策定の趣旨

千葉県では、令和3年度（令和4年（2022年）3月）に「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」を策定し、県民の命とくらしを守るとともに、海と緑に囲まれた自然環境や優れた都市機能を生かし、豊かな県民生活を実現できる「千葉の未来」を切り開いていくため各種施策を推進してきました。

この間、成田国際空港（以下「成田空港」という。）の拡張事業に向けた取組や、首都圏中央連絡自動車道※（以下「圏央道」という。）・北千葉道路※など広域道路ネットワークの整備進展等により、立地優位性をはじめとした本県のポテンシャルが更に高まるとともに、社会のグローバル化やデジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症の経験为契机としたライフスタイルの変化など、本県を取り巻く社会・経済環境は大きく変化しています。

同時に、頻発化・激甚化する自然災害への対応や、「匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）※」に代表される新たな犯罪形態への対応、本格的な人口減少社会の到来に伴う、様々な分野での人手不足や、地域経済の縮小、集落機能の低下への懸念などに対し、将来にわたり地域の活力を維持していくための取組が求められています。

さらに、誰一人取り残すことなく、持続可能な世界を実現するための普遍的な国際目標であるSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）や、2050年カーボンニュートラル※の実現に向け、民間企業や県民とも連携・協働した取組が必要です。

そこで、県では、これまでの取組の成果を踏まえつつ、県民の命とくらしを守るため、これら喫緊の課題に迅速・的確に対応するとともに、本県が有する「空」、「海」、「里」の魅力を磨き上げ、誰もが社会に参加・活躍し、豊かなライフスタイルを実現できる県づくりを加速していくため、新たな総合計画を策定します。

## 第2節

# 計画の性格

この計画は、本県の更なる飛躍に向け、本県が県民と共に目指す将来像を示すとともに、その実現に向けて取り組むべき県の政策及び施策の基本的な方向を、総合的かつ体系的に定めた、県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。

# 第 3 節

## 計画の構成と期間

この計画は、「基本構想編」と「実施計画編」で構成しています。

### (1) 基本構想編

基本構想編では、計画策定時を起点におおむね10年後を見据え、千葉県を取り巻く社会・経済環境の変化についての課題認識と、計画の基本理念や政策の推進に当たっての基本目標など、本県が目指す姿を示します。

### (2) 実施計画編

実施計画編では、基本構想編で掲げた課題認識や基本理念を踏まえ、6つの基本目標の実現に向けて、令和7年度(2025年度)から令和10年度(2028年度)までの4年間で重点的に実施する施策・取組を体系的に整理します。

# 千葉県のシンボルなど



## ● 県章

県章は、カタカナの(チ)と(ハ)を図案化したものです。

(明治42年12月28日制定)



## ● 県旗

県旗は、中央に県章を配し、地は希望と発展を表わす空色、マークは菜の花の薄黄色で縁取っています。

(昭和38年7月29日制定)



## ● 県の花 (菜の花)

昭和29年4月、NHKが中心となり一般から公募したもので、正式には決められていませんが、「菜の花」とされ広く親しまれています。



## ● 県民鳥 (ホオジロ)

県内に生息し、県民に最も親しまれている鳥として、この鳥が選ばれました。

(昭和40年5月10日指定)



## ● 県の魚 (タイ)

本県にゆかりが深く、明るいイメージをもち、本県の発展を象徴するにふさわしい魚として選ばれました。

(平成元年2月23日指定)



## ● 県の木 (マキ)

本県の気候風土にあい、街路、公園、庭木など県民の目によくふれる木として選ばれました。

(昭和41年9月29日指定)

## ★県民の日 6月15日

明治6年(1873年)6月15日に、木更津県と印旛県をあわせて千葉県が誕生しました。この6月15日を「県民の日」と決めました。(昭和59年3月26日制定)